

セミの抜け殻調査報告書2015

■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

■プルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

別や行は削除はしないでください。

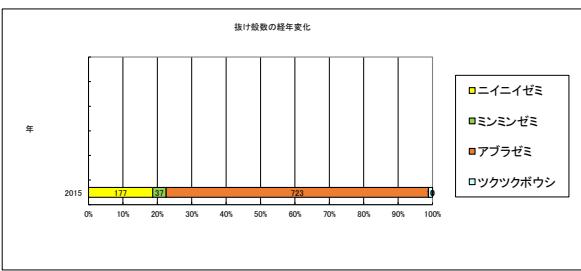
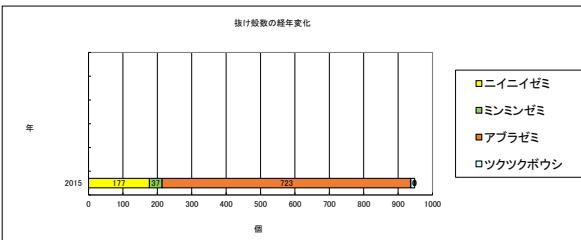
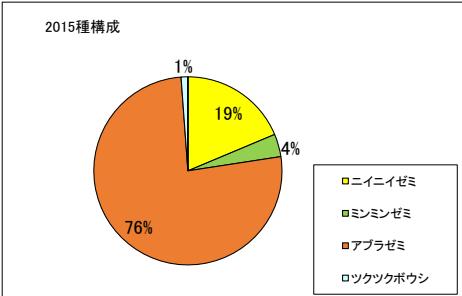
年度	2015
都道府県名	東京都
調査地名	都立光が丘公園（練馬区）
サイト名	見虫原っぱ
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	クマゼミ
調査地の主な樹木	クスノキ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・トチノキ・スタジイ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人1人

種	♂♀	7/14	7/31	8/19	9/16	
ニイニイゼミ	不明	21	136	17	3	177
ニイニイゼミ	♂					0
ニイニイゼミ	♀					0
ニイニイゼミ	計	21	136	17	3	177
ミンミンゼミ	不明	1				1
ミンミンゼミ	♂	6	8	1		15
ミンミンゼミ	♀	4	14	3		21
ミンミンゼミ	計	1	10	22	4	37
アブラゼミ	不明					0
アブラゼミ	♂	155	168	54		377
アブラゼミ	♀	38	242	66		346
アブラゼミ	計	193	410	120		723
ツクツクボウシ	不明		1			1
ツクツクボウシ	♂		3	1		4
ツクツクボウシ	♀		5	1		6
ツクツクボウシ	計		8	2		11
ヒグラシ	不明					
ヒグラシ	♂					
ヒグラシ	♀					
ヒグラシ	計					
クマゼミ	不明					
クマゼミ	♂					
クマゼミ	♀					
クマゼミ	計					
(自由入力)	不明					
(自由入力)	♂					
(自由入力)	♀					
(自由入力)	計					
合計		22	340	457	129	948

集計表

	2015					
ニイニイゼミ	177					
ミンミンゼミ	37					
アブラゼミ	723					
ツクツクボウシ	11					
ヒグラシ	0					
クマゼミ	0					
(自由入力)	0					
合計	948					



コメント : (改行: ALT+ENTER)

- 本サイトの調査結果を初めて報告します。初年度で試行でもあるため、7月から9月まで4回調査した。
- 確認されたセミは4種類で、アブラゼミが3/4と圧倒的に多く、次いでニイニイゼミが多いのが特徴。
- ニイニイゼミは7/14から見られ7/31をピークにそれ以降は急減している。一方、アブラゼミ、ミンミンゼミは8月中旬がピークで、9月に入っても見られる。
- アブラゼミは、7月はオスの比率が高いが、8月中旬以降は逆転してメスが多くなっている。
- 採取方法は、木の枝は1mほどの棒で届くものは採取したほか、雨、風で地面に落ちたものも、状態の良いものを選んで採取した。したがって、実際の羽化数は報告データよりかなり（2割程度？）上回る。



セミの抜け殻調査報告書2016

■部分を入力 ■ニイニイゼミのみ♀鑑別は不要(任意で入力できます)
別や行は削除はしないでください。

■ブルダインから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

年度	2016
都道府県名	東京都
調査地名	都立光が丘公園（練馬区）
サイト名	見虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	クスノキ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・トチノキ・スタジイ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 7人 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	7/12	7/28	8/11	8/25	9/10	9/26	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	80	920	271	16	3	0	0	0	0	0	1,290
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	80	920	271	16	3	0	0	0	0	0	1,290
ミンミンゼミ	不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	♂	0	21	106	14	3	6	0	0	0	0	150
ミンミンゼミ	♀	0	15	81	17	3	2	0	0	0	0	118
ミンミンゼミ	計	0	37	187	31	6	8	0	0	0	0	269
アブラゼミ	不明	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ア布拉ゼミ	♂	0	79	621	347	48	22	0	0	0	0	1,117
アブラゼミ	♀	0	15	504	480	95	21	0	0	0	0	115
アブラゼミ	計	0	94	1,125	828	143	43	0	0	0	0	2,233
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	14	3	2	1	0	0	0	0	20
ツクツクボウシ	♀	0	0	4	9	1	0	0	0	0	0	14
ツクツクボウシ	計	0	0	18	12	3	1	0	0	0	0	34
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		80	1,051	1,601	887	155	52	0	0	0	0	3,826

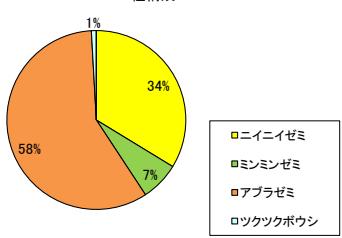
参加者 1 5 7 6

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3,826

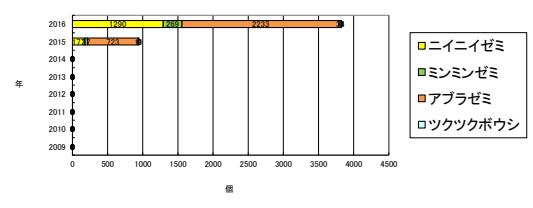
コメント : (改行 : ALT+ENTER)

○このサイトは昨年、2015年より調査を始めた。
○昨年に比べると採取数が約4倍に増えた。要因は参加者が増え、採取範囲も広がったことと考えられる。
○3回目の8/25は台風が通過した後であり、大半、地上に落下した抜け殻を採取した。
○このサイトはニイニイゼミが多いのが特徴であるが、今年は昨年よりもさらに比率が高く35%であった。特に2回目は92個と、極端に多いのが注目される。
○7月はニイニイゼミが多く、ツクツクボウシは8月から出現すること、8月半ばまではオスが多く、その後メスが増えること、など典型的な傾向がうかがえる。

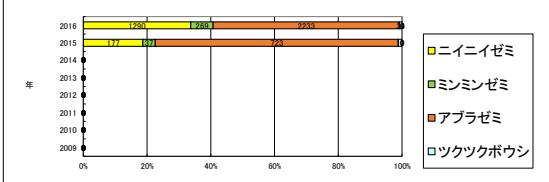
2016種構成



抜け殻数の経年変化



抜け殻数の経年変化



セミの抜け殻調査報告書2017

■部分を入力 ■ニイニイザミの♂♀鑑別は不要(任意で入力できます)

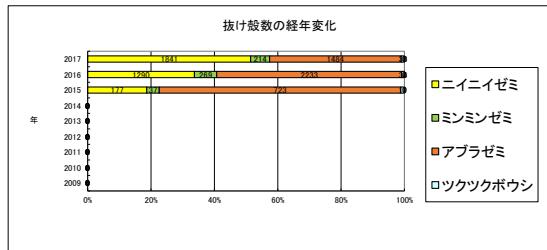
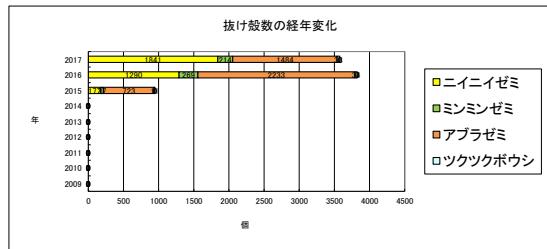
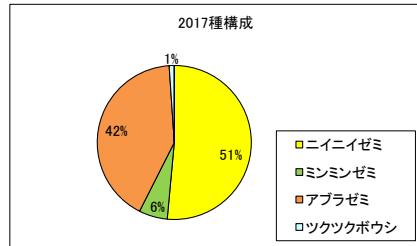
■ プルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。	
年度	2017
都道府県名	東京都
調査地名	都立光が丘公園（練馬区）
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	クスノキ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・トネノキ・スダジイ
調査地閑連HP	
調査参加者数	大人 延べ18 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	7/12	7/27	8/10	8/24	9/5	9/19	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	50	1,166	521	89	13	2	0	0	0	0	1,841
	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	50	1,166	521	89	13	2	0	0	0	0	1,841
モンミニゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	♂	0	10	33	51	9	5	0	0	0	0	100
モンミニゼミ	♀	0	15	10	63	14	4	0	0	0	0	106
モンミニゼミ	計	0	25	43	114	23	9	0	0	0	0	214
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	♂	0	103	195	417	52	18	0	0	0	0	785
アブラゼミ	♀	1	9	130	432	81	46	0	0	0	0	699
アブラゼミ	計	1	112	325	849	133	64	0	0	0	0	1,484
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	♂	0	0	4	15	6	0	0	0	0	0	25
ツクツクボウシ	♀	0	0	1	6	5	1	0	0	0	0	13
ツクツクボウシ	計	0	0	5	21	11	1	0	0	0	0	38
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	51	1,303	894	1,073	180	76	0	0	0	0	3,577
参加者		1	5	4	6	1	1					18



集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,841
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	214
アフラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,484
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34	38
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	0	0	0	0	948	3,826	3,577

コメント：(改行：ALT+ENTER)

○抜け殻の総数は昨年とほぼ同じであるが、ニイニイゼミの比率が50%を超え、アブラゼミの比率が減っている。

セミの抜け殻調査報告書2018

■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2018
都道府県名	東京都
調査地名	練馬区都立光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報			
声のみを聞いたセミ	クマゼミ		
調査地の主な樹木	クスノキ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・トチノキ・スダジイ		
調査地関連HP			
調査参加者数	大人	中学生	小学生
			幼児

種	♂♀	7/10	7/26	8/13	8/23	9/6/	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	84	1,257	61	21	1	0	0	0	0	0	1,424
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	84	1,257	61	21	1	0	0	0	0	0	1,424
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	50	16	36	5	0	0	0	0	0	107
ミンミンゼミ	♀	0	32	25	34	8	0	0	0	0	0	99
ミンミンゼミ	計	0	82	41	70	13	0	0	0	0	0	206
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	0	439	209	149	48	0	0	0	0	0	845
アブラゼミ	♀	0	167	258	215	75	0	0	0	0	0	715
アブラゼミ	計	0	606	467	364	123	0	0	0	0	0	1,560
ツクツクボウシ	不明	0	1	4	6	0	0	0	0	0	0	11
ツクツクボウシ	♂	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	7
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ツクツクボウシ	計	0	1	5	12	1	0	0	0	0	0	19
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		84	1,946	574	467	138	0	0	0	0	0	3,209

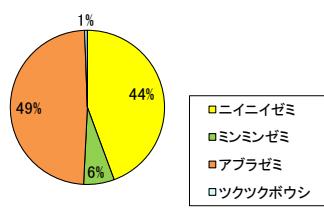
集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	11	34	19
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3,826	3,501	3,209

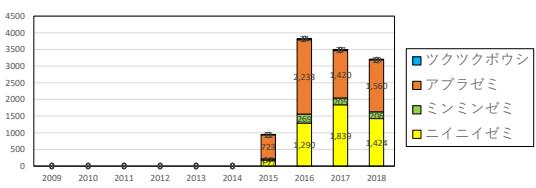
コメント：(改行：ALT+ENTER)

- 抜け殻の総数は前に比べやや少ないが、それほど落ち込みではない。ただし、7月下旬に全体の約60%を記録し、前年に比べるとピークが前にきている感じがする。
- 昨年はニイニイゼミが半分以上であったが、今回はアブラゼミがおよそ50%であった。いずれにしてもこのサイトは例年ニイニイゼミの比率が高く、7月下旬に総数のピークが来るはこのためである。
- 8/13は、当初予定の8/9が悪天候で延期になったものである。最終の9/6は、2日前に台風が通過した後で、採取した抜け殻の約90%は地面に落ちていたものである。
- クマゼミの声は聞こえたが、抜け殻の採取には至らなかった。

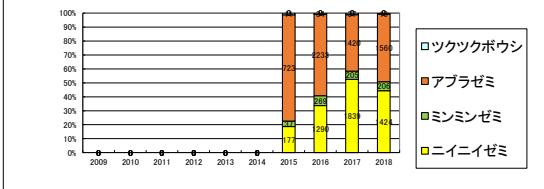
2018年構成



抜け殻数の経年変化



抜け殻数の経年変化



セミの抜け殻調査報告書2019

■部分を入力 ■ニイニイゼミのみ鑑別は不要（任意で入力できます）

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

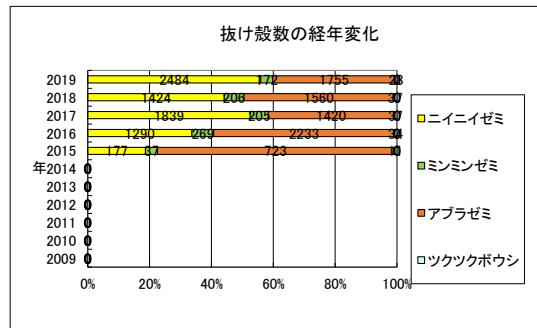
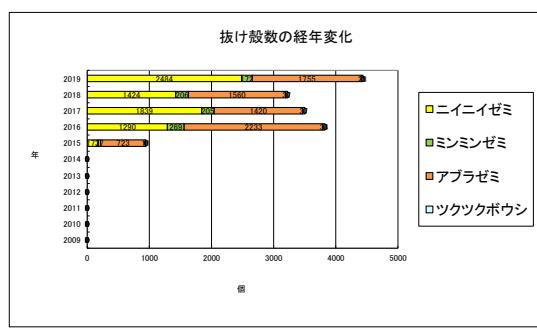
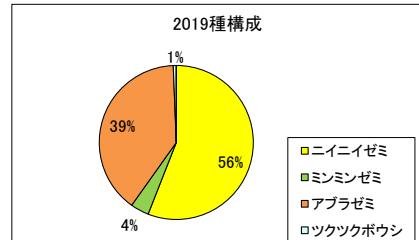
年度	2019
都道府県名	東京都
調査地名	練馬区都立光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再接者	

調査地参考情報			
声のみ聞いたセミ		クマゼミ	
調査地の主な樹木		クスノキ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・トチノキ・スダジイ	
調査地関連HP			
調査参加者数		大人 19	中学生 小学生 幼児

種	♂♀	7/11	7/25	8/9	8/22	9/5	9/11	9/19	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	2	705	1,667	85	23	0	2	0	0	0	2,484
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	2	705	1,667	85	23	0	2	0	0	0	2,484
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	37	46	7	1	0	0	0	0	91
ミンミンゼミ	♀	0	0	28	39	14	0	0	0	0	0	81
ミンミンゼミ	計	0	0	65	85	21	1	0	0	0	0	172
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	0	2	570	283	94	1	1	0	0	0	951
アブラゼミ	♀	0	0	192	418	185	5	4	0	0	0	804
アブラゼミ	計	0	2	762	701	279	6	5	0	0	0	1,755
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	3	9	5	1	0	0	0	0	18
ツクツクボウシ	♀	0	0	2	6	1	1	0	0	0	0	10
ツクツクボウシ	計	0	0	5	15	6	2	0	0	0	0	28
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	707	2,499	886	329	9	7	0	0	0	4,439

参加者	1	6	7	4	1	1					
集計表											
ニイニイゼミ	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424	2,484
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560	1,755
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	11	34	37	28
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3,826	3,501	3,227	4,439

コメント : (改行:ALT+ENTER)
1) ぬけがらの総数はこれまでの最高で、4000個以上であった。中でもニイニイゼミは2500個近く採取され、全体の56%に上った。ニイニイゼミの比率はこれまでの最高である。
2) 例年7月中旬から調査を始めているが、7月11日の採取はわずかに2個であった。しかし、8月9日にはニイニイゼミを中心に約2500個採取され、ピークとなつた。昨年に比べ、ピークが2週間遅れた。
3) 昨年は9月6日の採取は139個であったが、今年はその倍以上となった。これも、梅雨明けが遅たことによる、後ろへのずれ込みかもしれない。9月に入つていつまで羽化するか、確認してみたいた。
4) 9/11は前の週の取り残しが高い。ほとんどが3m程度の高さで採取。ツクツクボウシは比較的低い位置についていたので、新しい可能性ある。
5) 9/19もほとんど取り残しと思われるが、アブラゼミ1個は目の高さで、新しい可能性がある。



セミの抜け殻調査報告書2020

■部分を入力 ■ニイニイゼミのみ鑑別は不要（任意で入力できます）

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2020
都道府県名	東京都
調査地名	光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報	
声のみ聞いたセミ	クマゼミ
調査地の主な樹木	クスノキ・ケヤキ・コナラ・クヌギ・トチノキ・スダジイ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 22 中学生 小学生 幼児

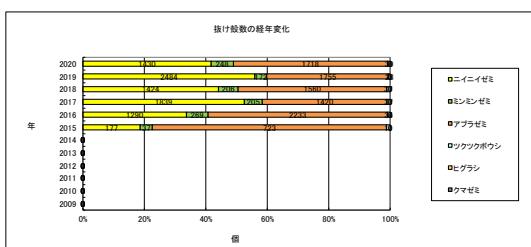
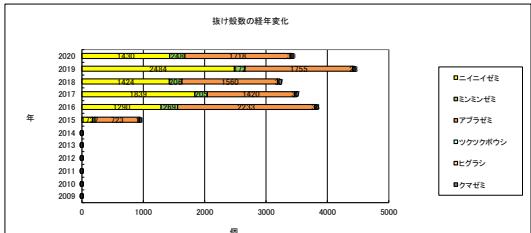
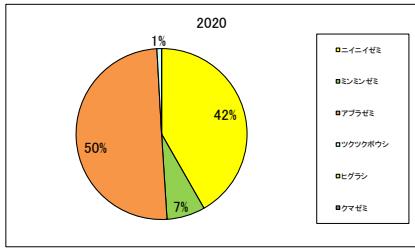
種	♂♀	7/20	7/30	8/13	8/27	9/10	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	119	800	468	35	8	0	0	0	0	0	1,430
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	119	800	468	35	8	0	0	0	0	0	1,430
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	21	70	32	10	0	0	0	0	0	134
ミンミンゼミ	♀	0	14	49	43	8	0	0	0	0	0	114
ミンミンゼミ	計	1	35	119	75	18	0	0	0	0	0	248
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	1	46	530	265	59	0	0	0	0	0	901
アブラゼミ	♀	0	2	346	395	74	0	0	0	0	0	817
アブラゼミ	計	1	48	876	660	133	0	0	0	0	0	1,718
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	2	11	2	0	0	0	0	0	15
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	11	4	0	0	0	0	15
ツクツクボウシ	計	0	0	2	22	6	0	0	0	0	0	30
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		121	883	1,465	792	165	0	0	0	0	0	3,426

集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1290	1839	1424	2484	1,430
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172	248
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2233	1420	1560	1755	1,718
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	0	11	34	37	37	30
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3826	3501	3227	4439	3,426

コメント：(改行：ALT+ENTER)

- 1) 7/20から9/10まで回調査した。9月に入っても暑い日が多いので、遅くまで発生しているかと思ったが、9/10はかなり少なかったのでそれ以降の調査はやめた。
- 2) 梅雨明けが遅れたにもかかわらず、ニイニイゼミの発生は順調であった。ただし、昨年に比べると大幅に減って、全体での比率も50%を切った。2018年のデータに近い。
- 3) 8月半ばに、夕方散歩していたら、レジ袋に抜け殻をいっぱい詰めた親子に出会った。小学校の宿題だという。抜け殻総数の変化（減少）の要因は、高い枝や落したものは十分とれないとか、天候の影響とか考えられるが、このように、ほかの人が採取するのも一つの要因かもしれない。



セミの抜け殻調査報告書2021

■部分を入力 ■ニイニイゼミのみ鑑別は不要（任意で入力できます）

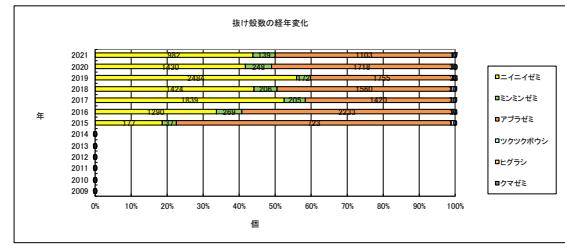
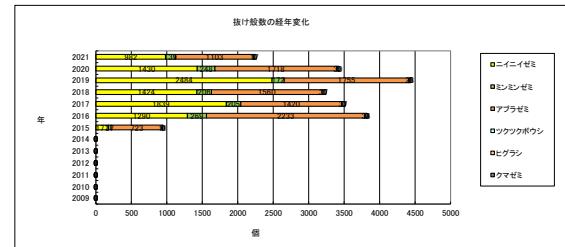
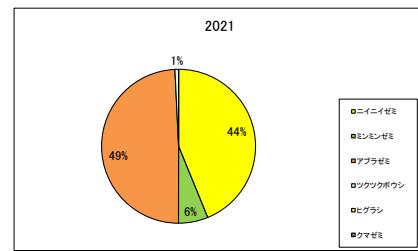
■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2021
都道府県名	東京都
調査地名	光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再掲者	

調査地参考情報					
声のみを聞いたセミ	クマゼミ				
調査地の主な樹木	クスノキ、ケヤキ、コナラ、クヌギ、トチノキ、スダジイ				
調査地関連HP					
調査参加者数	大人 20 中学生 小学生 幼児				

種	♂♀	7/15	7/29	8/12	8/26	9/11	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	102	717	127	26	10	0	0	0	0	982
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	102	717	127	26	10	0	0	0	0	982
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	14	32	5	9	0	0	0	0	61
ミンミンゼミ	♀	0	8	40	14	16	0	0	0	0	78
ミンミンゼミ	計	1	22	72	19	25	0	0	0	0	139
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	0	136	202	143	60	0	0	0	0	541
アブラゼミ	♀	0	43	238	166	115	0	0	0	0	562
アブラゼミ	計	0	179	440	309	175	0	0	0	0	1,103
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	4	2	3	0	0	0	0	9
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	1	7	0	0	0	0	8
ツクツクボウシ	計	0	0	4	3	10	0	0	0	0	17
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		103	918	643	357	220	0	0	0	0	2,241



集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424	2,484	1,430	982	
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172	248	139	
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560	1,755	1,718	1,103
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34	37	37	28	30	17
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3,826	3,501	3,227	4,439	3,426	2,241

コメント : (改行 : ALT+ENTER)

- ・抜け殻の採取総数は前年の約2/3であり、過去3年減少が続いている。理由は不明であるが、特に8月の採取数が少ない。
- ・サイト内のドングリ類がナラ枯れの被害にあっており、来年以降セミの発生に影響がないか心配である。
- ・例年、ニイニイゼミとアブラゼミの数が拮抗しており、今年はニイニイゼミ44%、アブラゼミ49%であった。
- ・9月11日に最後の調査を行ったが、この時期でもますますの個数が採取できた。なお、この日、アブラゼミ、ツクツクボウシ、それにクマゼミの声を聞いた。

セミの抜け殻調査報告書2022

■部分を入力 ■ニイニイゼミのみ鑑別は不要（任意で入力できます）

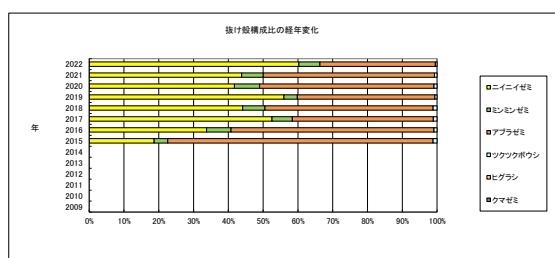
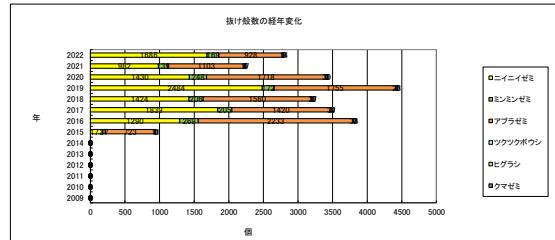
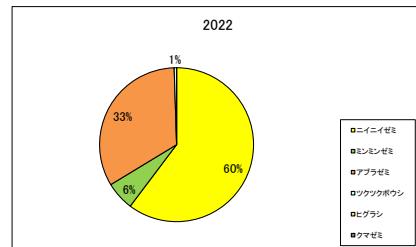
■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2022
都道府県名	東京都
調査地名	光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検査	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	クマゼミ
調査地の主な樹木	クスノキ、ケヤキ、コナラ、クヌギ、トチノキ、スダジイ
調査地閲覧HP	
調査参加者数	大人 15 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	7/18	7/28	8/11	8/25	9/10	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	326	1,134	139	79	8	0	0	0	0	0	1,686
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	326	1,134	139	79	8	0	0	0	0	0	1,686
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	17	21	41	3	0	0	0	0	0	82
ミンミンゼミ	♀	0	22	24	38	3	0	0	0	0	0	87
ミンミンゼミ	計	0	39	45	79	6	0	0	0	0	0	169
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	0	96	138	228	37	0	0	0	0	0	499
アブラゼミ	♀	0	17	103	246	63	0	0	0	0	0	429
アブラゼミ	計	0	113	241	474	100	0	0	0	0	0	928
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	6
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	8
ツクツクボウシ	計	0	0	0	8	6	0	0	0	0	0	14
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		326	1,286	425	640	120	0	0	0	0	0	2,797



集計表														
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424	2,484	1,430	982	1,686
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172	248	139	169
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560	1,755	1,718	1,103	928
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34	37	37	28	30	17	14
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	0	0	0	0	948	3826	3501	3227	4439	3426	2241	2,797

コメント : (改行 : ALT+ENTER)

- ・抜け殻の採取数は前年よりかなり増えたが、これは主としてニイニイゼミの数が増えたためである。
- ・このサイトの特徴はニイニイゼミが多いことであるが、今年初めてその比率が60%に達した。
- ・昨年からナラ枯れが発生しているが、今年はさらに拡大して、サイト内のドングリ類の半数以上が感染しているという印象である。ただし、枯れているものは少なく、セミの羽化数に影響は認められない。
- ・今年も15人の方に協力していただいたが、その所属はNACOT会員とねりまエコ・アドバイザーである。近い将来中村に代わるリーダーを誰にやっていただきか、悩ましい。



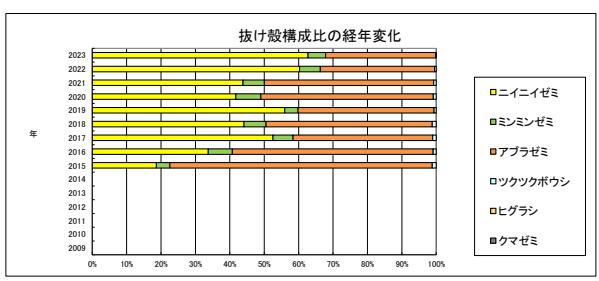
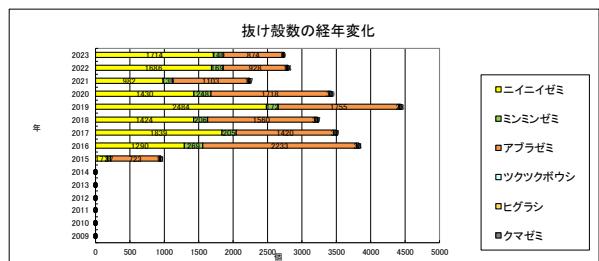
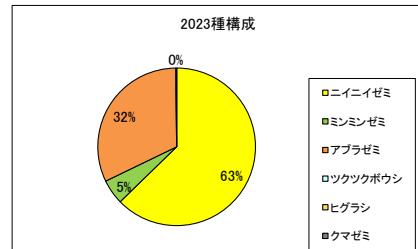
2015～2021年の調査範囲
2022年以降の調査範囲

セミの抜け殻調査報告書2023

■部分を入力	■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）
列や行は削除はしないでください。	
年度	2023
都道府県名	東京都
調査地名	光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報	
声のみ聞いたセミ	クマゼミ
調査地の主な樹木	クスノキ、ケヤキ、コナラ、クスギ、トチノキ、スダジイ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	7/11	7/27	8/10	8/24	9/7	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	170	1,438	83	21	2	0	0	0	0	1,714
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	170	1,438	83	21	2	0	0	0	0	1,714
ミンミンゼミ	不明	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
ミンミンゼミ	♂	0	26	26	11	5	0	0	0	0	68
ミンミンゼミ	♀	0	17	28	12	8	0	0	0	0	70
ミンミンゼミ	計	0	43	55	29	13	0	0	0	0	140
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	2	158	145	96	40	0	0	0	0	444
アブラゼミ	♀	0	45	186	125	74	0	0	0	0	430
アブラゼミ	計	2	203	334	221	114	0	0	0	0	874
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
ツクツクボウシ	計	0	0	2	0	2	1	0	0	0	5
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		172	1,684	474	273	130	0	0	0	0	2,733



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424	2,484	1,430	982	1,686	1,714
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172	248	139	169	140
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560	1,755	1,718	1,103	928	874
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34	37	37	28	30	17	14	5
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3826	3501	3227	4439	3426	2241	2797	2,733

コメント : (改行 : ALT+ENTER)

- ・今年も7/11から9/7まで5回の抜け殻採取を行った。採取総数は昨年とあまり変わらないが、ニイニイゼミの比率は過去最大となった。
- ・採取エリアを昨年度より縮小している。今年はそれを徹底した。ただし、総数はそれほど減っていない。採取を止めたエリアには従来ツクツクボウシが多くなったという印象があるが、確かに、ツクツクボウシが減っているのはその影響かもしれない。
- ・このエリアはドングリの木が多く、ナラ枯れが進行している。来年以降の影響が心配される。

セミの抜け殻調査報告書2024

■部分を入力
■ブルダインから選択

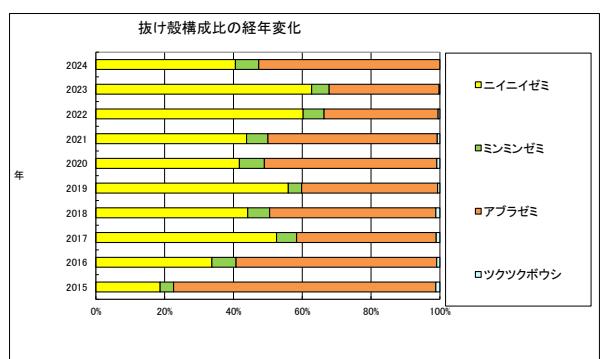
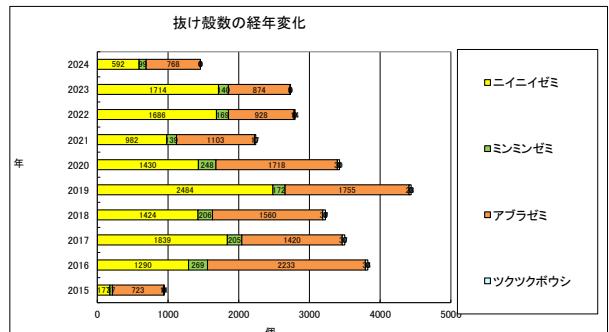
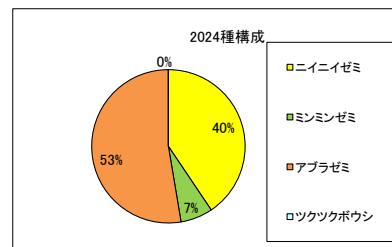
■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2024
都道府県名	東京都
調査地名	光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	

調査地参考情報	
声のみ聞いたセミ	クマゼミ
調査地の主な樹木	クスノキ、ケヤキ、コナラ、クヌギ、トチノキ、スタジイ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 17 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	7/13	7/25	8/8	8/22	9/5	/	/	/	/	/	計
ニイニイゼミ	不明	174	292	108	13	5	0	0	0	0	0	592
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	174	292	108	13	5	0	0	0	0	0	592
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	22	19	4	0	0	0	0	0	45
ミンミンゼミ	♀	1	1	14	31	7	0	0	0	0	0	54
ミンミンゼミ	計	1	1	36	50	11	0	0	0	0	0	99
アブラゼミ	不明	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4
アブラゼミ	♂	1	19	190	102	33	0	0	0	0	0	345
アブラゼミ	♀	0	6	183	165	65	0	0	0	0	0	412
アブラゼミ	計	1	26	376	267	98	0	0	0	0	0	768
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		176	319	520	330	114	0	0	0	0	0	1,459



集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424	2,484	1,430	982	1,666	1,714	592
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172	248	139	169	140	99
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560	1,755	1,718	1103	928	874	768
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34	37	37	28	30	17	14	5	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	948	3826	3501	3227	4439	3426	2241	2797	2733	1,459

・5年前、2019年に比べ、抜け殻総数は約1/3に減少した。中でも、このサイトの特徴であるニイニイゼミが1/4に減っている。もともと数は少ないが、ツクツクボウシがゼロになったのも気がかりである。
 ・要因として、コロナの時からサイトを2/3程度に縮小して抜け殻を採取していることが考えられる。
 ・しかし、これだけでは説明は不十分であろう。石神井公園や大泉中央公園でも抜け殻がここ数年激減している。原因是、もっと大きな、共通した環境変化のような気がする。数年前の産卵時期の気候がどうなっていたか、練馬のアメダスの数年前の気温変化調べてみたい。

nakademo

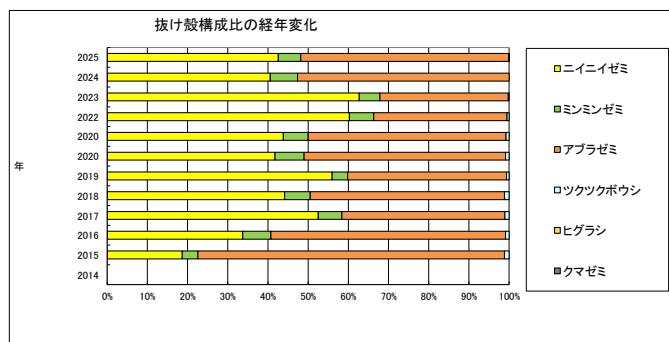
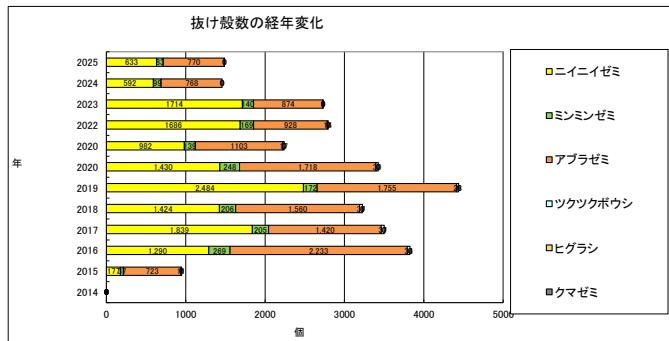
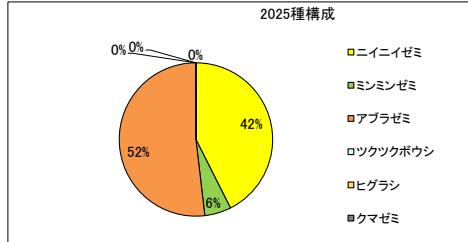
セミの抜け殻調査報告書2025

■部分を入力 ■ニイニイゼミのみ鑑別は不要（任意で入力できます）
■プルダウンから選択

列や行は削除はしないでください。

年度	2025
都道府県名	東京都
調査地名	光が丘公園
サイト名	昆虫原っぱの森
周辺の環境	平地
調査場所の様子	都市公園
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	中村 忠
再検者	中村 忠

調査地参考情報	
声のみ聞いたセミ	クマゼミ、ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	クスノキ、ケヤキ、コナラ、クヌギ、トチノキ、スタジイ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 12 中学生 0 小学生 0 幼児 0



集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	177	1,290	1,839	1,424	2,484	1,430	982	1,686	1,714	592	633
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	37	269	205	206	172	248	139	169	140	99	83
アブラゼミ	0	0	0	0	0	0	723	2,233	1,420	1,560	1,755	1,718	1103	928	874	768	770
ツクツクボウシ	0	0	0	0	0	0	11	34	37	37	28	30	17	14	5	0	1
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	131	571	441	251	93	0	1,487										

・抜け殻の総数や分布は、前年とほぼ同じであった。ここ数年減少傾向であったが、下げ止まりという数字であった。ただし、本当に下げ止まったかは、来年以降の調査を待たねばならない。

・個別に見ると、昨年に引き続きツクツクボウシの抜け殻が極端に少ないのが気になる。鳴き声はかなり聞こえているのだが。

・光が丘ではこれまで9月にも調査をしてきた。9月に入ても一定数のセミの発生は見られるが、このところの猛暑（夏が長くなっている）で羽化が後ろへずれ込んでいるか調べてみた。以下に過去5年の9月の発生比率を示した。

年 2021 2022 2023 2024 2025

9月発生率% 9.8 4.3 4.8 7.8 6.3

限られた期間であるが、9月の比率が増えているとは認められない。